

# I-SCAN Ver. 7.51における既知の不具合について

2016年4月  
ニッタ株式会社

I-SCANその他のシステムには、以下の不具合が確認されています。  
ご使用にあたりましては、下記の内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。

## 対象システム

- I-SCAN ver.7.51
- BIM-MAT ver.7.51
- HUGE-MAT ver.7.51
- PINCH ver.7.51
- C-SCAN ver.7.51
- HIGH SPEED I-SCAN ver.7.51

### <[ファイル]メニューに関する注意事項>

ID番号	不具合	回避方法
10001	キャリブレーションされたムービーの単位設定を工学単位([raw]以外)に設定し、MATLAB形式で保存すると、圧力の単位が[PSI]として出力されます。	MATLAB形式ではraw又はPSIで出力されます。

### <[編集]メニューに関する注意事項>

ID番号	不具合	回避方法
10003	データの編集において、外部消去ボックスを設定した後で、内部消去や内部平均のセル/ボックスを追加した場合、後から設定したセル/ボックスの効果がありません。	外部消去ボックスを使用する場合は、外部消去ボックスを一番最後に設定してください。
10004	「コメント」ダイアログで、追加したコメントフィールドの項目に対して設定した値を削除することができません。	空白(スペース)や「-」を設定することでコメントを削除してください。 フィールドの項目が不要であれば、「コメントフィールドの変更」ダイアログで、フィールドリストから削除してください。

### <[表示]メニューに関する注意事項>

ID番号	不具合	回避方法
10005	ムービー再生中に表示の静止を行うと、表示は静止しますが、その間もフレームは進行しており、静止を解除すると、進んだフレームから再生または最後のフレームが表示されます。	ムービーを停止させる場合は、静止ではなく、停止を行ってください。 停止は、ツールバーのアイコン、またはメニューの[ムービー]-[停止]を選択します。
10006	バーチャルセンサ使用時に、レコーディング後に「つなぎ合わせ」でリアルタイムウィンドウを開くと、センサの出力位置が異常となります。	つなぎ合わせのリアルタイムウィンドウの状態、[設定]-[センサの選択]により、「センサの選択」ダイアログを開き、(設定を何も変更しない状態で)[OK]をクリックしてください。 また、[ファイル]-[新しい設定で開く]を実行することでも、元の出力位置に戻ります。

### <[設定]メニューに関する注意事項>

ID番号	不具合	回避方法
10007	「レコーディングパラメータ」ダイアログの[デフォルト]をクリックしても、設定が初期化されない項目があります。 初期化されない項目は以下の通りです。 [ASRを有効にする]、[ノイズしきい値]、[フレームトリガタイプ]、[外部同期トリガポート]、 および、「ムービートリガ」ダイアログと「ASR設定」ダイアログで設定する項目全て	手動で設定し直してください。
10008	「レコーディングパラメータ」ダイアログで、[トリガを有効にする]のチェックを入れた状態で、[デフォルト]ボタンをクリックすると、[トリガを有効にする]のチェックが外れますが、[ムービートリガ]ボタンが有効のままになります。 レコーディングは、トリガ無効の状態で作動します。	[トリガを有効にする]のチェックをクリックしてON/OFFを切り替えると、OFFの時は[ムービートリガ]ボタンは無効になります。

10009	センサシートを複数接続した状態で、「ユーザー設定」ダイアログの[無負荷フレームの削除]で[最初から]をチェックした場合、各センサで別々にフレームがカットされ、ムービーの同期がとれません。時間軸を持ったグラフ表示を行っても、開始位置がずれて表示されます。	複数のセンサシートを接続し、同期をとる必要がある場合は、無負荷フレームの削除を行わないでください。
10010	「レコーディングパラメータ」ダイアログで、トリガ、プレトリガを有効に設定した場合、[ムービーフレーム]を[トリガ前のフレーム数]以下の値に設定してレコーディングを行うと、アプリケーションが強制終了する場合があります。 [トリガ前のフレーム数]は[ムービーフレーム]以上の値に設定できないようになっていますが、[ムービーフレーム]を後から小さい値に変更することができます。	[ムービーフレーム]は[トリガ前のフレーム数]より大きい値に設定してください。

#### <[ムービー]メニューに関する注意事項>

ID番号	不具合	回避方法
10011	感度を高くした場合、無負荷状態で、特定のセルに圧力値が検出されます。 検出されるセルの位置には規則性があり、センサシートによって変わり、山形や直線上の位置に現れます。	感度を低く設定してください。
10012	リアルタイムウィンドウ静止状態で、行反転/列反転を行うと、静止状態が解除されますが、ツールバーの[レコーディングの開始]アイコン、メニューの[ムービー]-[レコーディングの実行]が無効になっており、レコーディングが開始できません。	再度静止状態にしてから、静止解除を行ってください。
10013	センサシートを複数接続した状態で、トリガ設定で[最初の接触]/[抜重時]を選択した場合、全センサの荷重値の合計がトリガとして用いられます。	全センサの荷重値の合計がトリガとなる動作が仕様となります。
10014	レコーディングパラメータの[フレーム数/秒]を最大値付近に設定してレコーディングを行うと、レコーディングが途中で停止する場合があります。	[フレーム数/秒]を小さい値(最大値の90%以下)に設定すると、発生しなくなります。

#### <[グラフ]メニューに関する注意事項>

ID番号	不具合	回避方法
10015	フレーム数の異なる複数のムービーに、グラフオブジェクトを作成した状態で、「オブジェクト」ウィンドウで、ASCII保存を行い、時間変化を出力(X軸に「時間」/「フレーム」を選択)した場合、途中のフレームデータまでしか出力されない場合があります。 これは、出力されるフレーム数として、「オブジェクト」ウィンドウのリスト上で、一番上に表示されるムービーのデータが採用されるために発生します。	最もフレーム数が多いムービーファイルに対して、Windows エクスプローラー、または[ファイル]-[別名で保存]等でファイル名を変更します。 その際、出力したいムービーに対して、文字コード順で一番前に来るようにファイル名を付けることで、そのフレーム数のASCIIファイルが出力されるようになります。
10002	グラフのX軸を「圧力(セル統計)」に設定し、オブジェクトを指定してASCII保存を行った場合、保存されるデータが足りない場合があります。	256フレーム以上でレコーディングを行った後、ASCII保存を行ってください。

#### <[ツール]メニューに関する注意事項>

ID番号	不具合	回避方法
10016	イクイリブレーションとゼロ補正を同時に設定し、ゼロ補正の設定をファイルに保存すると、ゼロ補正の設定を読み取ることができなくなります。 ゼロ補正ファイルを開くと、イクイリブレーションの設定が読み込まれ、「ゼロ補正情報はありません」というメッセージが表示されます。	イクイリブレーションとゼロ補正はどちらか一方の設定のみ行うことが推奨されます。 両方の設定を行いたい場合は、イクイリブレーション設定を行う前に、ゼロ補正を実行し、ゼロ補正ファイルの保存を行った誤植です。正しくは、ボックス等のオブジェクトにおける出力をセンサ全体の位置関係を保持せずに、オブジェクトのサイズによって表示する機能です。
10017	ボックス等のグラフウィンドウで、プロパティダイアログを表示し、X軸の項目選択を長さ(列または行)に設定し、X軸のモードをパーセント表示に設定しても、数値表示のままになります。	

#### <ビデオキャプチャに関する注意事項>

ID番号	不具合	回避方法
------	-----	------

10018	ビデオキャプチャウィンドウを開いた際に、カメラのリアルタイム映像が表示されないことがあります。 Webカメラの機種によって、動作しないものや、カメラのパラメータ設定を行う必要があるものがあります。	キャプチャウィンドウの画面上を右クリックして、[カメラオプション]を選択し、適切なパラメータを設定してください。
10019	ビデオキャプチャのウィンドウで、ツールバーの[一時保存場所の指定]を実行してフォルダを設定すると、指定したフォルダの1つ上のフォルダに、一時ファイルが作成されます。	一時保存場所の指定を行う際に、出力したいフォルダに、仮のフォルダを作成しておき、そのフォルダを指定してください。
10020	ビデオデータのウィンドウを2枚以上開く、あるいは、2枚以上開いた状態で、初めに開いたウィンドウを閉じたり移動させたりすると、ソフトウェアがクラッシュする場合があります。	Intel社製HD Graphicsコントローラのドライバの不具合によるものです。ビデオデータを2枚以上開かないようにしてください。
10040	ムービーとビデオの同期再生時、終了点設定をしても再生時に「終了点」で止まりません。	ビデオウィンドウの再生機能を使用してください。 または、ビデオデータの終了点以降をビデオ編集機能で削除してください。

